

平成28年度 事業報告書(主な内容)

(単位：百万円)

	事業内容	事業実績等	予算	実績	差異
教学関係	1) 学部・学科の教育研究の活性化	1) 教育活性化予算による教育・研究活動への活用	10.0	9.1	0.9
	2) 教育・研究に対するサポート体制	2) 教育研究支援センターを中心とした授業を始めとする各種教育・研究支援	172.7	170.4	2.3
	3) EGAP英語教育支援	3) 外国語教育の基幹の一つであるEGAP(一般学術目的の英語)への支援継続	31.9	32.9	△1.0
	4) 全学的TOEIC® L&R TEST(IP)試験	4) 習熟度別クラス編成等による教育効果の向上	26.4	18.5	7.9
	5) 履修指導の強化・拡充	5) 履修指導強化のためシラバス記載事項の検討	9.5	5.7	3.8
	6) 国際化・グローバル化の推進	6) IELTS受験料補助の実施、「国際化推進検討委員会」答申、留学危機管理マニュアルの作成	1.0	1.1	△0.1
	7) FD・SD活動の推進	7) 授業評価アンケートに加え、参考となるFD活動の実践例や講演会等の積極的な情報提供	8.1	6.4	1.7
	8) 全学的教育情報システムの構築準備	8) 「教育情報システム検討部会」答申	0.6	0.1	0.5
学修環境と学生支援	1) 奨学金事業	1) 学生に対する各種奨学支援	169.2	148.4	20.8
	2) 貸出PC等の更新とPC専用ロッカーの設置	2) 貸出PCの更新、図書館に新たなPC貸出・返却ロッカーの設置	96.5	58.8	37.7
	3) キャリア形成支援	3) キャリアカウンセラーの配置、各種キャリア支援講座開催による、キャリア形成支援	29.4	27.5	1.9
	4) 語学学修環境の支援	4) 外部機関による学内での語学学修機会の提供、チャットルーム(独、英、仏、西、中、韓)の実施による語学学修支援	10.0	5.2	4.8
	5) 公認会計士養成・法律専門職講座	5) 専門職を目指す学生に対する外部機関による講座の継続開講	29.5	27.6	1.9
	6) 学生会バスの更新	6) 越谷グラウンド他への送迎バスの更新	14.3	14.3	0
	7) 証明書発行機の更新	7) 証明書発行機の更新	24.8	19.9	4.9
施設・設備関係	1) 創立50周年記念館建設	1) アクティブラーニングを支えるラーニングコモンズを備えた創立50周年記念館竣工	3,452.8	3,587.3	△134.5
	2) 5棟解体に伴う代替教室改修	2) 5棟解体に伴う代替教室の改修準備の着手	10.0	0.2	9.8
	3) UR都市機構用地の取得	3) 本学正門前のUR用地(約1.17ha)購入	1,516.3	1,511.5	4.8
	4) 情報基盤(DAINET)の更新	4) キャンパス内のインフラ整備およびシステム強化・セキュリティ対策等を含めた情報基盤(DAINET-4)の更新	566.9	314.8	252.1
	5) ネットワークサーバの更新	5) 基幹システム(DREAMS)のサーバの更新	115.5	84.6	30.9
	6) 省エネルギー、省CO ₂ 対策	6) 省エネルギー、省CO ₂ 対策としてのコンサルティングの業務委託の継続、6棟照明のLED交換	10.0	39.4	△29.4
	7) 敬和館居室の一部改修	7) 開館7年目を迎える敬和館居室の壁紙貼り替え	1.7	2.6	△0.9
研究活動関連	1) 研究活動(個人・共同)の推進・支援	1) 学内外の各種研究の支援	65.2	58.2	7.0
	2) 研究所の運営活動	2) 地域総合、環境共生、外国語学、情報学研究所の4研究所によるシンポジウム開催、紀要発行	48.0	25.1	22.9
地域貢献関連等	1) 「地域と子どもリーガルサービスセンター」の運営	1) 当センター運営、設立10周年記念シンポジウムの開催	15.0	12.5	2.5
	2) 生涯学習の促進	2) 地域への生涯学習機会の提供のためオープンカレッジを中心とした各種講座の開講	68.0	71.0	△3.0
	3) 市民向けシンポジウムの実施	3) 主に研究所による市民対象のシンポジウム等の開催	9.6	5.8	3.8
	4) 松原団地西側地域まちづくりに関する連携 地域住民との意見交換会	4) 草加市・UR都市機構との意見交換会 近隣住民との意見交換会を通じた、地域との良好な連携の維持・強化	0.3	0.2	0.1
その他	1) 入試の広報展開、インターネット出願等の施策	1) 受験生への積極的な広報、利便性を考慮しインターネット出願の継続	93.1	76.6	16.5
	2) 教職員のメンタルヘルス対策	2) 教職員を対象としたストレスチェックの実施	0.4	0.4	0

主な用語について

- 学生生徒納付金 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等
- 手数料 入学検定料、証明手数料等
- 補助金 国や地方公共団体等からの補助金
- 雑収入 他のいずれの収入科目にも該当しないもの(本学では主に退職金財団からの交付金等)
- 人件費 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、臨時職員に支給される給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額
- 教育研究経費 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその減価償却額の総額
- 管理経費 大学を運営する総務、人事、経理、対外的な広報活動に要する経費、教育研究に当たらない事業に要する経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその減価償却額の総額
- 基本金組入 学校会計では、学校の基礎となる資産、将来計画のための資産、基金(奨学基金等)として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目を基本金として確保し、事業活動収入のうちから組入れるように規定している。
- 基本金組入前当年度収支差額 単年度における事業活動全体の収支差額(バランス)を見ることができる。

平成29年度事業計画のポイント

「伝統を重んじ、新たな価値の創出に向けて」

■ 今年度の主な取り組みをお知らせします。

創立50周年記念事業の中核をなす創立50周年記念館(西棟)が本年1月末日竣工を迎えました。「2018年問題」を目前に控える今、これからの50年に向け、その歩みを加速させ、大学の魅力を高めるべく、学内の英知と資源を結集し、引き続き教育研究水準の更なる向上と、学修環境の整備に取り組んでまいります。

■ 教学関係

- EGAP英語教育支援
- 全学的TOEIC® L&R TEST (IP) 試験
- 国際化・グローバル化の推進
- 教育研究・学修支援体制の強化

科目や領域の特性を考慮した「少人数教育の推進」という方針を堅持します。また、入学時の語学力に応じた教育・指導を行う習熟度別クラス編成による教育効果の向上を図るとともに入学後の英語力の測定・検証を行うことで更なる英語力の修得につなげます。また、教育研究支援センターによる、授業をはじめとする各種教育・研究支援に注力します。

■ 学修環境と学生支援

- アクティブ・ラーニング型学修の促進
- 奨学金事業
- キャリア形成支援
- 学生の食環境の改善
- 事務情報システム改修

創立50周年記念館(西棟)竣工に伴うラーニング・commons導入による主体的・協同的な学修の促進を図ります。

経済的理由により就学が困難な学生への学業維持支援に取り組みます。キャリアカウンセラーの配置や、各種キャリア支援講座の提供によるキャリア形成支援を充実します。また、「教育環境改善アンケート」の意見を踏まえ、学生の食環境改善に努めます。



創立50周年記念館(西棟)

■ 今年度の主要重点項目

- EGAP英語教育支援
- 全学的TOEIC® L&R TEST (IP) 試験
- 国際化・グローバル化の推進
- 教育研究・学修支援体制の強化
- アクティブ・ラーニング型学修の促進
- 奨学金事業
- キャリア形成支援
- 学生の食環境の改善
- 事務情報システム改修
- 創立50周年記念館(西棟)周辺のキャンパスランドスケープ計画
- 第5棟解体
- 特定天井(35周年記念館)の改修
- 35周年記念館の空調用自動制御機器の更新
- 地域まちづくりに関する連携

■ 施設・設備関係

- 創立50周年記念館(西棟)周辺のキャンパスランドスケープ計画
- 第5棟解体
- 特定天井(35周年記念館)の改修
- 35周年記念館の空調用自動制御機器の更新

創立50周年記念館(西棟)周辺のインフラ整備、隣接する第5棟の解体工事を実施します。既存施設も検証を行い、適切な維持・管理に取り組みます。

■ 地域貢献関連等

- 地域まちづくりに関する連携

大学最寄駅の「松原団地駅」が「獨協大学前<草加松原>」に改称されたことを契機として、更なる地域貢献・魅力ある地域社会発展への貢献を図ります。

■ 地球温暖化防止に向けた環境対策

- 省エネルギー、省CO₂対策
- 環境報告書の作成

平成29年度 主要事業計画書

(単位：百万円)

	事業名	事業内容	予算
教学関係	1) 少人数教育の推進	1) 教育の質を高めるための、科目や領域の特性を考慮した少人数教育の推進の堅持	—
	2) EGAP英語教育支援	2) 外国語教育の基幹の一つであるEnglish for General Academic Purposes (一般学術目的の英語)の更なる改善、拡充、強化	40.4
	3) 全学的TOEIC® L&R TEST (IP) 試験	3) 入学時の語学力に応じた教育・指導を行う習熟度別クラス編成による教育効果の向上および入学後の英語力の測定・検証	35.8
	4) 国際化・グローバル化の推進	4) 国際化推進に伴う人的支援と施設設備の見直し、国際寮、セミナーハウス設置の検討・調査、英語版HPの充実や大学案内の制作等	8.6
	5) 履修指導の強化・拡充	5) 学内で進んでいた履修登録を学外からも登録できることによる利便性向上	5.4
	6) FD・SD活動の推進	6) 教育・研究の質の保証、職員力の向上を目指す活動	7.5
	7) 全学的教育情報システムの在り方の検討	7) 教育情報システムの現状分析と検証を行い、将来的な全学的情報システムの構想・導入・運用体制の検討・調査	0.1
	8) 教育研究・学修支援体制の強化	8) 教育研究支援センターによる、授業を始めとする各種教育・研究支援	171.1
学修環境と学生支援	1) アクティブ・ラーニング型学修の促進	1) ラーニング・コモンズ導入による課題発見・解決に向けた主体的・協同的な学修の促進	25.0
	2) 奨学金事業	2) 経済的理由により修学が困難な学生への学業維持支援	149.0
	3) キャリア形成支援	3) キャリアカウンセラーの配置や各種キャリア支援講座の提供によるキャリア形成支援	41.0
	4) 語学学修環境の支援	4) 学生の目的に応じた外部機関による外国語教育の実施、チャットルーム(独、英、仏、西、中、韓)の設置	10.1
	5) 公認会計士養成、法律職対策講座	5) 専門職を目指す学生に対する外部機関による資格取得支援(講義の理解を深める補完的要素を併せ持つ)	28.6
	6) 学生の食環境の改善	6) 「教育環境改善アンケート」の意見を踏まえた、学生の食環境改善	55.0
	7) 事務情報システム改修	7) 教務情報、学生情報をはじめとする事務情報システム(DREAMS)改修に向けての現状調査・要件定義作成	31.0
施設・設備関係	1) 創立50周年記念館(西棟)周辺のキャンパスランドスケープ計画	1) 創立50周年記念館(西棟)周辺のインフラ整備	147.8
	2) 第5棟解体	2) 創立50周年記念館完成に伴う第5棟の解体工事	132.8
	3) 特定天井(35周年記念館)の改修	3) 災害等による天井脱落を防ぎ、学生の安全確保および草加市の避難所としての機能改修	50.0
	4) 35周年記念館の空調用自動制御機器の更新	4) 老朽化した空調用自動制御機器を更新することによる空調運転の最適化	25.5
	5) 旧学生課改修	5) 中央棟1階の旧学生課を有効活用するための改修	10.0
	6) 敬和館設備の改善	6) 開館8年目を迎え、経年劣化に伴う洗濯機・乾燥機の更新	5.6
	7) 研究所棟の外壁修繕	7) 経年利用に伴う外壁修繕	21.5
	8) 電話交換機の更新	8) 電話交換機の老朽化に伴う更新	37.8
地域貢献関連等	1) 地域連携課(仮称)の新設	1) エクステンションセンターを改組し、地域文化・教育の一翼となるための地域連携課(仮称)新設	—
	2) 地域まちづくりに関する連携	2) 大学最寄り駅の「松原団地駅」が「獨協大学前<草加松原>」に改称されたことを機に、更なる地域貢献・魅力ある地域社会発展への貢献	270.3
	3) 「地域と子どもリーガルサービスセンター」の運営	3) 同センターによる地域住民の子どもに関する相談対応	14.1
	4) 生涯学習の促進	4) 地域住民の学習意欲に対応したオープンカレッジ各種講座の開設	85.0
	5) 市民向けシンポジウムの実施	5) 主に研究所による市民を対象とするシンポジウム等開催	9.8
地球温暖化防止に向けた環境対策	1) 省エネルギー、省CO ₂ 対策	1) 地球温暖化対策計画に伴う省エネルギー、省CO ₂ に向けたコンサルタント契約	7.1
	2) 環境報告書の作成	2) 大学が取り組んでいる省エネルギー、省CO ₂ 活動の点検および発信を目的とした報告書の作成	1.6
	3) 認証プリンタの利用枚数の上限設定	3) 認証プリンタの印刷枚数を上限設定することによる紙資源保護対策	1.4
	4) 省エネ推進活動	4) 省エネキャンペーン、省エネパネル展等の実施	0.3
その他	1) 入試の広報展開、インターネット出願等	1) 受験生への積極的情報発信(広報)および受験生への利便性を配慮したインターネット出願等の整備	103.0
	2) 安否確認サービスの導入	2) 地震等の自然災害発生時に安否確認を行い、迅速な業務再開を可能とする対策	0.9
	3) サイバーリスクへの保険の加入	3) サイバー攻撃による事故が発生した場合の対策	1.6